

公共事業再評価調書

所管課： 河川課

1 事業概要	事業名： 久茂地川河川改修事業				
	事業種別： 総合流域防災事業 (河川環境整備事業)	事業主体： 沖縄県	当初事業期間： H. 10 ~ H. 22		
	事業箇所： 那覇市	根拠法令： 河川法	事業期間： H. 10 ~ H. 22		
	総事業費(百万円)： 2,938	費用内訳： 補助 9/10	事業量： 2.0km		
(整備目的)	久茂地川は、那覇市の中心市街地を流れる川で、都市生活に密接に関わる河川であるが、護岸の安定性が低下しており、また身近な水辺としての親水性に欠けている状況にある。 そのため、都市モノレールの建設と合わせて一体的に護岸整備を実施し、安全で美しく魅力ある河川空間を創出する。				
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着工 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 ()				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 () ⑧当初から平成22年度までの長期計画として設定している。				
4 事業の進捗状況 (H19. 3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)		
	計画	2,938	2.00		
	実施済	1,723	1.33		
	率	58.6 %	66.5 %		
5 事業効果の評価指標	本事業に適した費用便益分析のマニュアルが無いため、費用便益は算出しない。				
6 事業を巡る状況の変化	① 社会・経済： 都市モノレールが平成15年8月に開業し、久茂地川沿いに3つの駅舎が建設された。駅舎を中心に人の往来が活発化し、沿川には飲食店を中心に様々な店舗が建ち並び賑わいが生まれてきている。 また、河口部でモノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業が平成17年9月にスタートしたことから、河川管理者としても良好な都市空間形成の為に再開発事業者と協議を進めているところである。 ② 地元・自治体： 「久茂地川鯉のぼりフェスタ」、「カヌー体験」(環境学習)が行われており、また、沿川緑地帯の手入れをする地域住民が増えるなど、河川愛護思想が高まってきている。 ③ 利害関係者： なし				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 老朽化した護岸の改築と親水性の向上、動植物の良好な生息空間の保全に重点を置き整備を進めてきた。残事業区間においても現計画により事業を着実に推進していく必要がある。 河口部の護岸改修に当たっては、再開発事業と一体となった魅力ある河川景観としていく予定である。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 都市モノレールの建設と合わせて護岸整備を行った箇所は完了しており、残事業も40%程度であることから、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 都市モノレールとの一体整備により、良好な都市空間が創出されており、河川に親しむ人々が増えていく。また、空積護岸の建設により多様な生物の生息空間も創出されている。				
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等： 現計画通り事業を進め、平成22年度の完了を目指す。 ② 対住民関係： 問題なし ③ 執行体制等： 現在の組織体制で執行可能である。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				